


みて！みて！きて！ ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
 天神3丁目11番31号
 電話 23-5144

平成29年10月号

～ごみ減量は「もったいない」の精神で～

キツネやサル、イノシシやハクビシンが里山に生ごみを求め活発に活動しているニュース。特にイノシシは以前山裾の集落で目撃され、最近では市内各地でも目撃されている。

市の担当課からは屋外にくず野菜等の生ごみを出さないように、注意喚起があった。ある家庭ではコンポスターがハクビシンに開けられる被害があり、以前軽井沢町でクマがごみ箱をあさるニュースもあり、まだ食べられるのに「もったいない」と動物たちもしっかり学習している。

可燃ごみの40～50%が生ごみとの事ですが、初めてエコクッキングに参加した時、その心得を学び、衝撃を受けた。「余分な物は買わない、食材は使い切る、食べきれないだけしか作らない、火加減の調節、ため洗い・ためすすぎ、に心がける、お皿やフライパン等残った調味料や油は古布で拭き取ってから洗う」というものだ。これを各家庭で実践出来れば更に燃やせるごみの減量と無駄なエネルギーを使わず、CO²削減に繋がると思う。

上野が丘公民館では夏休み、小学生を対象に、「わいわい塾」を開催。物づくりを中心に体験学習が生まれ、今年の料理体験体験学習では、冷蔵庫にある残り物でおやつ作りに挑戦。余り物も無駄にしない、食品ロスを削減する取り組み。小学生たちはそれぞれ工夫し、真剣におやつ作りにチャレンジしていた。

初のノーベル賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさんが2005年来日、その際感銘を受けたのが「もったいない」という日本語であった。環境活動の3Rをたった一言で表せるだけでなく、かけがえない地球資源に対する Respect (尊敬の念) が込められている言葉、それが「もったいない」という美しい日本語だ。世界に広がる日本の「もったいない」精神でごみ減量に挑戦しよう。

☆このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

◎古着の回収

10月6日(金) 午前10時から正午
時間内に持参してください。ごみ減量にご協力ください。
衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

1	日	休館日
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	古着回収日
7	土	休館日
8	日	休館日
9	月	休館日(体育の日)
10	火	
11	水	裂き織教室 10時～12時
12	木	着物～ボストン型バッグ 10時～15時
13	金	
14	土	休館日
15	日	休館日
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	着物～ボストン型バッグ 10時～15時
20	金	
21	土	休館日
22	日	休館日
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	休館日
29	日	休館日
30	月	
31	火	

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

～「生ごみ出しません袋」を使ってみました～

「生ごみ出しません袋」が昨年9月から導入され、私もごみ減量アドバイザーになったので、「生ごみ出しません袋」を申請し、使い始めてから1年になります。(昨年は20枚)

私は以前より生ごみはコンポスターを使用しており、「燃やせるごみ指定袋」には入れていませんでした。(毎日の生ごみの量はとても多いので、余分な物は買わない、人数分のみ作る等生ごみが出ないよう、エコクッキングを心がけています)

小さな紙類のような「雑がみ」もしっかり分別をすると、1カ月でかなりの量になり、分けることにより「雑がみ」が多いことに気づきました。その結果、「生ごみ出しません袋」は1カ月に1袋しか集積所に出しません。ですから1年間で12袋使用したことになります。(残りは8枚)

この様に1年間「生ごみ出しません袋」を使用してみた結果、特に問題なく使用できました。

家族構成の問題や、畑があっても動物被害があるなど「生ごみ出しません袋」を使用できない方も多いと思いますが、出来る人から使用してみませんか！！畑などある方は、ぜひコンポスターも使ってみてほしいと思います。

(コンポスターも、虫が湧く、悪臭がするなど上手に使用できない方も多いと思いますが、上手に使える方法はあります。ごみ減量アドバイザーか、エコ・ハウスに問い合わせてください)

体験コーナー

★空き缶のリサイクル

★牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。

★生ごみ処理基材「ぼっくん」は、平成27年4月1日より、無料にて提供しています。

生ごみを燃やさず、有効利用をしましょう。ご協力ください。

“焼却炉がギブアップです！！”



わくわく講座 (参加費各回 100円)

申し込みは、10月2日(月)以降、電話でエコ・ハウスへ(受付は電話のみ)。

★ 着物地からボストンバック作り (定員8名)

日時	10月12日(木), 19日(木) 午前10時～午後3時(2回コース)
持ち物	着物(ほどいて)、裏布用、バッグ用ファスナー(40cm)、裁縫道具、型紙用紙、昼食
諸経費	一回100円
材料費	別途

★ 裂き織体験教室 (定員6名)

古布を捨てずに、裂いて織ってみましょう。

日時	10月11日(水) 午前10時～12時
持ち物	持ち物 ..裂いても良い着物が布
材料費	500円

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 ☎23-5144
エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ecohouse/>